

岡山理科大学
平成 30 (2018) 年度 獣医学部新設の構想に
係る高校生アンケート調査

【報告書】

株式会社KEIアドバンス

KEIアドバンス

目 次

岡山理科大学 平成 30 (2018) 年度 獣医学部新設の構想に係る高校生アンケート調査 【報告書】

1. 平成 30 (2018) 年度 獣医学部新設の構想に係る高校生アンケート調査の概要	1
2. 高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果	
① 回答者の属性	3
② A. 獣医学部 獣医学科 (仮称) について	7
③ B. 獣医学部 獣医保健看護学科 (仮称) について	14
④ 獣医学部 獣医学科と獣医保健看護学科の併願志望状況について	21

(参考 1) 全件集計結果

(参考 2) 岡山理科大学 平成 30 (2018) 年度
獣医学部新設の構想に係る高校生アンケート調査用紙

(参考 3) 岡山理科大学 平成 30 (2018) 年度
獣医学部新設の構想に係る高校生アンケート調査用リーフレット

1. 平成 30 (2018) 年度 獣医学部新設の構想に係る高校生アンケート調査の概要

◆調査内容：

平成 28 年 11 月の国家戦略特別区域諮問会議において、「新たなニーズに対応する獣医学部」について、従来獣医師養成機関となる大学（獣医学科）のなかった四国（愛媛県今治市）に約 50 年ぶりに新設することが認められ、平成 29 年 1 月にこの獣医学部新設を学校法人加計学園 岡山理科大学が担当することが決定された。これをうけて、同大学による平成 30 年度獣医学部（仮称）新設に伴う認可申請手続きの一環として、入学定員充足について見通しを検証するため、平成 30 年度に大学に進学する可能性が高い三重県以西の西日本エリアの平成 28 年度高等学校第 2 学年在籍者に対して、当該の構想に係る高校生アンケート調査を実施した。

◆調査期間：

平成 29 年 1 月～2 月

◆調査対象・方法：

調査は、平成 29 年 1 月下旬～2 月中旬にかけて、現高校 2 年生（平成 29 (2017) 年度・新高 3 生）を対象に「高校生アンケート調査（入口調査）」を実施した。調査対象は、平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月上旬に近畿以西（三重県～沖縄県）の高校 2,042 校に対し今治市が行った、国家戦略特別区域の同市に獣医学部の新設を企画するにあたっての高校生調査への協力依頼に了解をいただいた 321 校に対し、改めて個別の調査として、設置運営主体に選定された岡山理科大学の獣医学部（仮称・構想中）としての内容（予定）を紹介し、276 校から回答を得たものであります。（回答件数 30,851 件）。

◆実施状況：

【参考】今治市による高等学校への調査協力依頼、および回答状況は以下の通りです。

■発送							■アンケート可の校数					
府県	公立	国立	市立	私立	町立	総計	公立	国立	市立	私立	町立	総計
三重県	58	2		19		79	5	0	0	7		12
滋賀県	48			13		61	5	0	0	4		9
京都府	47	2	9	41		99	5	0	0	5		10
大阪府	141	3	21	101		266	14	0	0	14		28
兵庫県	139	2	18	55		214	22	0	2	0		24
奈良県	33	2	2	18		55	5	0	0	1		6
和歌山県	34	1	2	8		45	4	0	0	2		6
	500	12	52	255	0	819	60	0	2	33	0	95
鳥取県	24	1		8		33	3	0	0	2		5
島根県	35	1	1	10		47	7	0	0	2		9
岡山県	52	1	12	25		90	5	0	1	5		11
広島県	81	4	12	40		137	22	1	2	9		34
山口県	51	3	1	22		77	7	0	0	3		10
	243	10	26	105	0	384	44	1	3	21	0	69
徳島県	31	1	1	3		36	3	0	0	0		3
香川県	31	1	1	12		45	6	0	1	2		9
愛媛県	52	3		15		70	47	1	0	13		61
高知県	34	1	1	9		45	10	0	0	1		11
	148	6	3	39	0	196	67	1	1	15	0	84
福岡県	97	3	7	62	1	170	12	0	1	7	0	20
佐賀県	36			9		45	2	0	0	1		3
長崎県	56	1	1	22		80	3	0	0	2		5
熊本県	53	1	2	24		80	9	0	0	3		12
大分県	39	1	1	15		56	8	0	0	1		9
宮崎県	39	1		14		54	4	0	0	3		7
鹿児島県	61	1	7	22		91	7	0	0	4		11
沖縄県	60	1		6		67	5	0	0	1		6
	441	9	18	174	1	643	50	0	1	22	0	73
総計	1,332	37	99	573	1	2,042	221	2	7	91	0	321

※回答校数では今治北高校-大三島分校を本校とは別に1校としてカウントしている。

岡山理科大学 獣医学部（仮称）に対する「高校生アンケート調査（入口調査）」の回収状況は次の通りです。

■アンケート回収校数

府県	公立	国立	市立	私立	町立	総計
三重県	4	0	0	2		6
滋賀県	5	0	0	4		9
京都府	5	0	0	4		9
大阪府	10	0	0	11		21
兵庫県	19	0	2	0		21
奈良県	5	0	0	1		6
和歌山県	3	0	0	1		4
	51	0	2	23	0	76
鳥取県	3	0	0	2		5
島根県	6	0	0	2		8
岡山県	5	0	0	4		9
広島県	17	1	2	9		29
山口県	5	0	0	3		8
	36	1	2	20	0	59
徳島県	3	0	0	0		3
香川県	6	0	1	2		9
愛媛県	47	1	0	10		58
高知県	9	0	0	1		10
	65	1	1	13	0	80
福岡県	10	0	1	6	0	17
佐賀県	1	0	0	0		1
長崎県	2	0	0	1		3
熊本県	9	0	0	2		11
大分県	7	0	0	0		7
宮崎県	4	0	0	3		7
鹿児島県	6	0	0	3		9
沖縄県	5	0	0	1		6
	44	0	1	16	0	61
総計	196	2	6	72	0	276

■アンケート受取済校数

公立	国立	市立	私立	町立	総計
312	0	0	211		523
940	0	0	239		1,179
433	0	0	473		906
1,482	0	0	1,423		2,905
2,246	0	178	0		2,424
804	0	0	93		897
228	0	0	146		374
6,445	0	178	2,585	0	9,208
172	0	0	34		206
396	0	0	130		526
376	0	0	644		1,020
2,073	190	241	692		3,196
358	0	0	274		632
3,375	190	241	1,774	0	5,580
497	0	0	0		497
700	0	118	149		967
5,437	126	0	1,044		6,607
628	0	0	206		834
7,262	126	118	1,399	0	8,905
1,237	0	251	913	0	2,401
74	0	0	0		74
276	0	0	209		485
1,185	0	0	85		1,270
789	0	0	0		789
567	0	0	315		882
631	0	0	75		706
330	0	0	221		551
5,089	0	251	1,818	0	7,158
22,171	316	788	7,576	0	30,851

※回収校数では今治北高校-大三島分校を本校とは別に1校としてカウントしている。

地元である当該特区の愛媛県、次いで同様に当該の特区にあたる広島県の校数・件数が多いが、やはり50年ぶりの獣医学部新設ということもあってか、全般的に関心が高く、西日本エリア全域にわたり調査への協力が得られ、大阪府、兵庫県、福岡県といった大都市圏からも多数の回答をいただくことが出来た。また、四国4県の合計は全学校数のうち29.0%、件数でも28.9%と、域内初の獣医学部設置に対する関心・期待の高さをうかがわせる回答状況となった。

2. 高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果

アンケートの返送件数は 30,851 件であるが、そこから白紙回答などを除外したアンケートデータとしての有効件数は 30,712 件(人)になった。質問項目の集計にあたっては、30,712 件、全件での集計に加え回答者の属性「高校卒業後の進路」への質問の選択肢で大学進学とは異なる「短期大学進学」「専門学校進学」「就職」を回答した者、「その他」の中で大学校、留学など、大学進学とは異なる進路を明記した者を除いた大学進学を進路として検討する可能性が相対的に高いと考えられる母集団を「大学進学希望」として設定した 23,148 件での集計も併せて算出している。

① 回答者の属性

【性別】

性別	全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数	%	回答数	%
1 男性	15,673	51.0%	12,465	53.8%
2 女性	14,644	47.7%	10,430	45.1%
無記入・複数回答	395	1.3%	253	1.1%
合計	30,712	100.0%	23,148	100.0%

「全件」「大学進学希望」とともに、男子の数が女子を少し上回っているが、後者の集計ではやや開きが大きくなっている。

【居住都道府県】（※集計表は次ページに掲載）

居住都道府県についての回答状況では、2つのグループとも第1位は愛媛県で、第2位・第3位は「全件」では広島県・大阪府、「大学進学希望者」では大阪府・広島県となり、第4位・第5位はいずれも兵庫県・福岡県となっている。地元&特区指定の2県と西日本エリアでの大都市圏の5府県による占有率は「全件」で56.5%、「大学進学希望者」で54.2%と、いずれも過半数を超えている。四国4県の占有率は、前者が28.5%、後者が25.5%である。また、調査を行った三重県以西の24府県全てから回答が寄せられており、50年ぶりかつ西日本エリア初の私立大学獣医学部の新設に対する関心の高さがうかがえる。

居住都道府県	全件(30,712件)		居住都道府県	大学進学希望(23,148件)	
	回答数	%		回答数	%
愛媛県	6,487	21.1%	愛媛県	4,086	17.7%
広島県	3,211	10.5%	大阪府	2,374	10.3%
大阪府	2,741	8.9%	広島県	2,323	10.0%
兵庫県	2,534	8.3%	兵庫県	1,967	8.5%
福岡県	2,389	7.8%	福岡県	1,792	7.7%
熊本県	1,258	4.1%	滋賀県	902	3.9%
滋賀県	1,177	3.8%	熊本県	876	3.8%
奈良県	977	3.2%	奈良県	867	3.7%
香川県	958	3.1%	香川県	814	3.5%
岡山県	904	2.9%	宮崎県	719	3.1%
宮崎県	865	2.8%	岡山県	704	3.0%
高知県	826	2.7%	大分県	671	2.9%
鹿児島県	804	2.6%	京都府	620	2.7%
大分県	771	2.5%	高知県	543	2.3%
京都府	753	2.5%	鹿児島県	526	2.3%
山口県	645	2.1%	山口県	472	2.0%
沖縄県	569	1.9%	徳島県	471	2.0%
三重県	528	1.7%	沖縄県	439	1.9%
島根県	508	1.7%	長崎県	436	1.9%
徳島県	496	1.6%	島根県	432	1.9%
長崎県	462	1.5%	三重県	429	1.9%
和歌山県	368	1.2%	和歌山県	338	1.5%
鳥取県	212	0.7%	鳥取県	185	0.8%
佐賀県	85	0.3%	佐賀県	69	0.3%
無記入・複数回答	184	0.6%	無記入・複数回答	93	0.4%
合計	30,712	100.0%	合計	23,148	100.0%

【履修系列】

高校での履修系列	全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数	%	回答数	%
1 文系	9,398	30.6%	7,223	31.2%
2 理系	15,478	50.4%	14,197	61.3%
3 商業系	1,717	5.6%	592	2.6%
4 工業系	1,177	3.8%	247	1.1%
5 その他	2,312	7.5%	679	2.9%
→ うち、農・林・水産・園芸系	1,133	3.7%	320	1.4%
無記入・複数回答	630	2.1%	210	0.9%
合計	30,712	100.0%	23,148	100.0%

高等学校での履修系列については、当初の今治市からの協力依頼で特区における獣医学部の新設に関連した調査の旨を説明していたこともあってか、「理系」の比率が相対的に高く、「全件」ではほぼ半数、「大学進学希望」では約60%強を占めている。次いで「文系」がどちらのグループでも30%強となっている。そのほかの系列として目に付くのは、選択肢としては立てていなかったのに「その他」の中に含まれる形になっているが、農学系・農業系を中心とした農・林・水産・園芸系の学科で、「全件」では「工業系」とほぼ並び、「大学進学希望」では若干ではあるが「工業系」を上回っている。獣医学部の新設というトピックが興味を引いたものと思われる。

【高校卒業後の進路】

高校卒業後の進路		全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
		回答数	%	回答数	%
1	4年制大学進学	20,457	66.6%	20,457	88.4%
2	短期大学進学	762	2.5%	***	***
3	専門学校進学	2,934	9.6%	***	***
4	就職	3,030	9.9%	***	***
5	その他	452	1.5%	244	1.1%
6	未定	2,447	8.0%	2,447	10.6%
無記入・複数回答		630	2.1%	***	***
合計		30,712	100.0%	23,148	100.0%

高校卒業後の進路に関しては、回答者全件から回答の選択肢で大学進学とは異なる「短期大学進学」「専門学校進学」「就職」を回答した者、「その他」の中で大学校、留学など、大学進学とは異なる進路を明記した者を除いた者について、大学進学を検討する可能性が相対的に高いと考えられる母集団として「大学進学希望」のグループを設定した。このグループは全件 30,712 件に対し 23,148 件、約 75.4%を占めており、母集団としては全般的に大学進学への意識が高い回答者の割合が多くなっていると思われる。

【興味のある学問分野】（あてはまるものすべてに○を付ける）

興味のある学問分野【複数回答】		全件(30,712件)		興味のある学問分野【複数回答】		大学進学希望(23,148件)	
		回答数	% (※1)			回答数	% (※2)
11	理学・工学	8,183	26.6%	11	理学・工学	7,385	31.9%
9	経済学・経営学・商学	4,452	14.5%	9	経済学・経営学・商学	3,909	16.9%
21	美術・デザイン・音楽・芸術学	4,099	13.3%	5	心理・哲学・宗教	3,332	14.4%
5	心理・哲学・宗教	4,056	13.2%	12	情報・メディア	2,847	12.3%
12	情報・メディア	3,573	11.6%	17	医療技術(理学療法・作業療法など)	2,750	11.9%
16	看護学	3,562	11.6%	7	国際関係・国際文化	2,727	11.8%
18	食物学・栄養学	3,494	11.4%	4	文学・歴史・地理	2,716	11.7%
17	医療技術(理学療法・作業療法など)	3,484	11.3%	13	医学	2,612	11.3%
4	文学・歴史・地理	3,221	10.5%	15	薬学	2,573	11.1%
7	国際関係・国際文化	3,186	10.4%	21	美術・デザイン・音楽・芸術学	2,548	11.0%
2	農学・畜産学・水産学	3,079	10.0%	16	看護学	2,528	10.9%
13	医学	3,027	9.9%	2	農学・畜産学・水産学	2,462	10.6%
15	薬学	2,842	9.3%	18	食物学・栄養学	2,356	10.2%
6	語学関係(外国語・言語学)	2,760	9.0%	6	語学関係(外国語・言語学)	2,277	9.8%
20	体育学・健康科学	2,463	8.0%	20	体育学・健康科学	1,749	7.6%
1	獣医学・獣医保健看護学	2,213	7.2%	8	法学・政治学	1,745	7.5%
10	社会学・福祉学	2,080	6.8%	1	獣医学・獣医保健看護学	1,636	7.1%
8	法学・政治学	1,971	6.4%	10	社会学・福祉学	1,592	6.9%
22	その他	1,769	5.8%	3	生命科学・ライフサイエンス	1,454	6.3%
3	生命科学・ライフサイエンス	1,687	5.5%	22	その他	934	4.0%
19	家政・生活科学	1,134	3.7%	19	家政・生活科学	765	3.3%
14	歯学	965	3.1%	14	歯学	682	2.9%
合計		67,300	219.1%	合計		53,579	231.5%

(※1) %は 30,712 人に対する比率。

(※2) %は 23,148 人に対する比率。

興味のある学問分野については、回答者の理系学生の比率が高いことを反映して「全件」でも「大学進学希望」のグループでも第1位は「理学・工学」となっている。第2位は、文系の中でボリュームが大きく、かつ近年の入試動向でも人気上昇している「経済学・経営学・商学」系が占めている。「全件」の第3位の「美術・デザイン・音楽・芸

術学」は「大学進学希望」では第 10 位に後退している。続く「心理・哲学・宗教」「情報・メディア」は「大学進学希望」の中では「全件」よりもさらに比率が少し高くなっている。グローバル関連の「国際関係・国際文化」も「大学進学希望」グループのほうが比率が高い。「獣医学・獣医保健看護学」は「医学」「薬学」と「歯学」の間に位置し、2つのグループともに比率は7%強となっている。「医学」「薬学」のそれぞれ10%前後の割合には及ばないが、3%前後の「歯学」に比べると倍以上の回答数を得ている。

② A. 獣医学部 獣医学科（仮称）について

Aの質問群は、獣医学部 獣医学科（仮称）に関連した質問である。

【質問 A-1】 獣医学科の特色の中で、魅力的と思うもの（複数回答）

獣医学科の特色の中で魅力的と思うもの【複数回答】		全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
		回答数	% (*1)	回答数	% (*2)
1	新しい社会ニーズに対応する国のミッションを受けた獣医学部	7,050	23.0%	5,633	24.3%
2	医薬品開発(創薬)等の先端ライフサイエンス分野+医薬連携	8,063	26.3%	6,417	27.7%
3	社会公共性の高い獣医事に従事できる獣医師(公務員、等)を目指す	8,671	28.2%	6,830	29.5%
4	グローバルな視点を備えた教員をはじめ、多数の学部専任教員による充実した教育体制	7,197	23.4%	5,704	24.6%
5	チーム獣医療の中心メンバーとしての活躍に向けた、実習やキャリア科目の充実	6,716	21.9%	5,081	22.0%
6	充実した施設・設備・機器環境	7,451	24.3%	5,667	24.5%
7	約50年ぶりの新設獣医学科	4,712	15.3%	3,576	15.4%
8	西日本初の私立大獣医学科(愛媛県今治市)	4,927	16.0%	3,697	16.0%
9	その他	713	2.3%	496	2.1%
合計		55,500	180.7%	43,101	231.5%

(*1)%は30,712人に対する比率。 (*2)%は23,148人に対する比率。

※回答の選択肢の表現は短縮している。

回答の傾向としては、「全件」でも「大学進学希望」でも大きく変わらず、選択肢の1～6の学科の内容に関わる特色それぞれに対し、いずれも20～30%の割合で選択されている。この中では、「3. 社会公共性の高い獣医事に従事できる獣医師(公務員、等)を目指す」ことが最多、次いで「2. 医薬品開発(創薬)等の先端ライフサイエンス分野、医学・薬学とも連携した研究」という、新学部(学科)が重点教育分野として打ち出している公衆衛生分野、ライフサイエンス分野への注目度・関心が相対的に高いことがデータとしてあらわれている。また、「4」「5」「6」についても20～25%の選択回答があり、臨床獣医分野への関心も一様に高いことがうかがえる。「7」の50年ぶり、「8」の西日本初の私立大獣医学科の2点については、若干選択率が下がっているが、それでもいずれも15～16%の回答を得ており、全般的に当獣医学科の考え方・内容に関して魅力を感じていると考えられる。

【質問 A-2】 獣医学科について、受験したいと思いますか。

回答	全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数	%	回答数	%
1 受験したい	1,010	3.3%	823	3.6%
2 受験しない	28,895	94.1%	21,862	94.4%
無記入・複数回答	807	2.6%	463	2.0%
合計	30,712	100.0%	23,148	100.0%

選択肢「1. 受験したい」を選択した比率は、「全件」母集団で 3.3%、「大学進学希望者」で 3.6%となっている。学校基本調査の平成 28 年度版「15 関係学科別 大学入学状況 (3-1)」に掲載されている「獣医学畜産学」の入学志願者計：18,796 名から修業年限 4 年の 5,332 名を除いた 13,464 名(※6 年制獣医学科に相当)を大学入学志願数計の全体 4,151,981 名で除すると 0.32%に過ぎないことを考慮すると、かなり前向きに受験を検討しようとしている傾向が現れている。また同様に平成 27 年度の学校基本調査から数字を拾って計算すると、 $13,660 / 3,983,778 = 0.34\%$ であるので、やはり現状の獣医学科の受験状況に比較してかなり高い割合の回答状況であることがわかる。実数としても、「全件」で 1,010 件、「大学進学希望」で 823 件と予定されている入学定員 160 名に対し 5~6 倍強の回答があり、獣医学科新設への反応は非常に大きなものがある。

次に「大学進学希望」グループの「1. 受験したい」の 823 名について、居住都道府県の回答内訳を出してみると次表の通りであった。

居住都道府県	【A-2】受験したい(823件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数 (①)	% (*1)	居住地回答数 (②)	% (*2)
17 福岡県	120	14.6%	1,792	6.7%
1 愛媛県	119	14.5%	4,086	2.9%
12 広島県	99	12.0%	2,323	4.3%
5 大阪府	74	9.0%	2,374	3.1%
6 兵庫県	60	7.3%	1,967	3.1%
15 香川県	34	4.1%	814	4.2%
20 熊本県	29	3.5%	876	3.3%
3 滋賀県	27	3.3%	902	3.0%
22 宮崎県	25	3.0%	719	3.5%
11 岡山県	24	2.9%	704	3.4%
24 沖縄県	23	2.8%	439	5.2%
23 鹿児島県	21	2.6%	526	4.0%
7 奈良県	20	2.4%	867	2.3%
16 高知県	20	2.4%	543	3.7%
21 大分県	20	2.4%	671	3.0%
4 京都府	18	2.2%	620	2.9%
13 山口県	17	2.1%	472	3.6%
2 三重県	15	1.8%	429	3.5%
14 徳島県	14	1.7%	471	3.0%
10 島根県	13	1.6%	432	3.0%
19 長崎県	10	1.2%	436	2.3%
8 和歌山県	7	0.9%	338	2.1%
9 鳥取県	7	0.9%	185	3.8%
18 佐賀県	4	0.5%	69	5.8%
無記入・複数回答	3	0.4%	93	3.2%
合計	823	100.0%	23,148	3.6%

(*1) %は 823 件に対する比率。 (*2) %は①/②の比率。

「受験したい」の回答者数が多いのは、アンケート自体の回答数上位5府県であるが、中でも福岡県からの回答は120件と、同県の調査回答者数中の6.7%相当、全体平均3.6%の2倍近く割合で反応があり、愛媛県、広島県を抜いて第1位という関心の高さをうかがわせる結果となった。回答者数上位以外の府県においても、実数は調査回答件数に差があり、3～34件と居住地による開きが出ているが、それぞれの府県の回答者数に対していずれも2～7%弱と、先に見た学校基本調査での比率に比べて大きく上回っている。西日本エリア全般にわたり獣医学科進学への潜在的なニーズの存在がうかがえる結果となっており、今回の獣医学科新設によって、現状の獣医学科志願状況を上回る志願者数・生徒層を開拓できる可能性が十分にあると思われる。

また、この823件について、併せて回答者の性別を分類すると下表の通りである。女子の比率が47.9%と学校基本調査の結果に比べ若干低く、男子が過半数を占めている。ただし、「大学進学希望」の母集団全体での女子構成比(45.1%)を考えると、現状同様に獣医学科の女子人気がこの新設学科にもあてはまることが考えられる。

居住都道府県	【B-2】受験したい(823件)		
	回答数	うち女子数	女子%
1 愛媛県	119	54	45.4%
2 三重県	15	7	46.7%
3 滋賀県	27	11	40.7%
4 京都府	18	10	55.6%
5 大阪府	74	30	40.5%
6 兵庫県	60	34	56.7%
7 奈良県	20	10	50.0%
8 和歌山県	7	5	71.4%
9 鳥取県	7	2	28.6%
10 島根県	13	6	46.2%
11 岡山県	24	11	45.8%
12 広島県	99	47	47.5%
13 山口県	17	7	41.2%
14 徳島県	14	8	57.1%
15 香川県	34	18	52.9%
16 高知県	20	17	85.0%
17 福岡県	120	55	45.8%
18 佐賀県	4	1	25.0%
19 長崎県	10	4	40.0%
20 熊本県	29	15	51.7%
21 大分県	20	6	30.0%
22 宮崎県	25	10	40.0%
23 鹿児島県	21	15	71.4%
24 沖縄県	23	11	47.8%
無記入・複数回答	3	***	***
合計	823	394	47.9%

◆ (参考) 学校基本調査「関係学科別 入学状況」より「入学志願者数」。

年度	入学志願者数		
	獣医学科 (6年制)相当	うち女子	女子%
H.28	13,464	6,850	50.9%
H.27	13,660	7,016	51.4%

【質問 A-3】 獣医学科に合格した場合について（入学を検討するか）。

回答	全件(30,712件)のうち		大学進学希望(23,148件)のうち	
	【n=1,010】(※A-2「1. 回答」)		【n=823】(※A-2「1. 回答」)	
	回答数	% (※1)	回答数	% (※2)
1 合格した場合、入学を検討する	342	1.1%	256	1.1%
2 併願大学の結果によっては入学を検討する（↓①～⑦は複数回答）	612	2.0%	526	2.3%
①【併願大学】国公立大学の獣医学科	224		186	
②【併願大学】国公立大学の医学・薬学・農学等の学部・他学科	287		252	
③【併願大学】国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科	122		107	
④【併願大学】他の私立大学の獣医学科	62		43	
⑤【併願大学】他の私立大学の医学・薬学・農学等の学部・他学科	109		87	
⑥【併願大学】他の私立大学の④⑤以外の系統の学部・他学科	46		37	
⑦【併願大学】その他	15		10	
無記入・複数回答	56	0.2%	41	0.2%
合計	1,010	3.3%	823	3.6%

(*1) %は 30,712 人に対する比率。 (*2) %は 23,148 人に対する比率。

入学への志向性が高い「1. 合格した場合、入学を検討する」を回答した者は、「全件」で 342 名、「大学進学希望」で 256 名と、それぞれ予定の定員 160 名を大きく上回っている。

さらに、「2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学を検討する」と回答した併願層の人数（件数）は、「全件」で 612 名、「大学進学希望」では 526 名分あり、それぞれ「1」と「2」を合計すると 954 名（件）・782 名（件）となる。予定入学定員 160 名に対しやはり 5～6 倍弱の人数が存在しており、十分な競争環境の中で入学者の確保が見込まれるものと言える。

また併願大学としては獣医学科を含め、国公立大学を検討する「2-①、②、③」の人数が多く、「全件」では①・②・③の延べ件数 633 件＝実数 500 名が、「大学進学希望者」では 545 件＝実数 435 名が該当する。従って、前者では「2」の 81.7% (500/612)、また後者では 82.7% (435/526) を国公立大学の併願者層が占めている。

回答者個々の学力や成績を見るすべはないが、量的にも質的にもこうした回答状況を鑑みると、合格→入学する生徒層について相当程度の学力レベルを想定することができると思われる。

次に本質問での「1. 合格した場合、入学を検討する」の回答者のうち、「大学進学希望者」のグループについて、居住都道府県の回答内訳をまとめると次表の通りである(表は次ページに掲載)。

回答数の多い上位 5 府県は、東から大阪府、兵庫県、広島県、愛媛県、福岡県の 5 府県であることは共通しており、「1. 合格→入学を検討」では地元の愛媛県が 1 位であるが、「2」の併願層まで含めると、福岡県が若干愛媛県を上回っている。福岡県は先の「受験したい」の回答と同様に、県内全体に対して 7%弱という他に比べて相対的に高い志向を見せている。福岡県の獣医学科志望者層にとっては、比較的近距離県に私立大学の獣医学部（獣医学科）が新設されるため、非常に関心が高くなっている可能性が考えられる。

居住都道府県	【A-3】「1. 合格→入学 検討」(256件)		【A-3】「2. 併願大の結果 →入学検討」(526件)		【A-3】「1」+「2」		大学進学希望(23,148件)	
	回答数 (①)	% (※1)	回答数 (②)	% (※2)	回答数 (①+②)	% (※2)	居住地回答 数(③)	% (※3)
1 愛媛県	42	16.4%	72	13.7%	114	14.6%	4,086	2.8%
2 三重県	2	0.8%	12	2.3%	14	1.8%	429	3.3%
3 滋賀県	7	2.7%	17	3.2%	24	3.1%	902	2.7%
4 京都府	5	2.0%	11	2.1%	16	2.0%	620	2.6%
5 大阪府	22	8.6%	49	9.3%	71	9.1%	2,374	3.0%
6 兵庫県	13	5.1%	46	8.7%	59	7.5%	1,967	3.0%
7 奈良県	5	2.0%	15	2.9%	20	2.6%	867	2.3%
8 和歌山県	4	1.6%	3	0.6%	7	0.9%	338	2.1%
9 鳥取県	3	1.2%	4	0.8%	7	0.9%	185	3.8%
10 島根県	3	1.2%	10	1.9%	13	1.7%	432	3.0%
11 岡山県	6	2.3%	15	2.9%	21	2.7%	704	3.0%
12 広島県	37	14.5%	57	10.8%	94	12.0%	2,323	4.0%
13 山口県	4	1.6%	11	2.1%	15	1.9%	472	3.2%
14 徳島県	4	1.6%	9	1.7%	13	1.7%	471	2.8%
15 香川県	12	4.7%	21	4.0%	33	4.2%	814	4.1%
16 高知県	7	2.7%	11	2.1%	18	2.3%	543	3.3%
17 福岡県	40	15.6%	79	15.0%	119	15.2%	1,792	6.6%
18 佐賀県	0	0.0%	4	0.8%	4	0.5%	69	5.8%
19 長崎県	2	0.8%	8	1.5%	10	1.3%	436	2.3%
20 熊本県	12	4.7%	14	2.7%	26	3.3%	876	3.0%
21 大分県	6	2.3%	12	2.3%	18	2.3%	671	2.7%
22 宮崎県	9	3.5%	15	2.9%	24	3.1%	719	3.3%
23 鹿児島県	2	0.8%	18	3.4%	20	2.6%	526	3.8%
24 沖縄県	9	3.5%	12	2.3%	21	2.7%	439	4.8%
無記入・複数回答	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	93	1.1%
合計	256	100.0%	526	100.0%	782	100.0%	23,148	3.4%

(*1) %は256件に対する比率。(※2) %は526件に対する比率。(※3) %は①+②の数の782件に対する比率。

(*4) %は(①+②) / ③の比率。

また、各府県の「1」「2」の回答者の女子人数をまとめると次表の通り。

居住都道府県	【A-3】「1. 合格→ 入学検討」(256件)			【A-3】「2. 併願大の結果 → 入学検討」(526件)			【A-3】「1」+「2」		
	回答数 (①)	女子数 (②)	女子% (②/①)	回答数 (③)	女子数 (④)	女子% (④/③)	回答数 (①+③)	女子数 (③+④)	女子% (③+④ /①+②)
1 愛媛県	42	15	35.7%	72	38	52.8%	114	53	46.5%
2 三重県	2	1	50.0%	12	6	50.0%	14	7	50.0%
3 滋賀県	7	4	57.1%	17	6	35.3%	24	10	41.7%
4 京都府	5	4	80.0%	11	5	45.5%	16	9	56.3%
5 大阪府	22	6	27.3%	49	22	44.9%	71	28	39.4%
6 兵庫県	13	4	30.8%	46	30	65.2%	59	34	57.6%
7 奈良県	5	3	60.0%	15	7	46.7%	20	10	50.0%
8 和歌山県	4	3	75.0%	3	2	66.7%	7	5	71.4%
9 鳥取県	3	0	0.0%	4	2	50.0%	7	2	28.6%
10 島根県	3	2	66.7%	10	4	40.0%	13	6	46.2%
11 岡山県	6	3	50.0%	15	6	40.0%	21	9	42.9%
12 広島県	37	20	54.1%	57	23	40.4%	94	43	45.7%
13 山口県	4	2	50.0%	11	5	45.5%	15	7	46.7%
14 徳島県	4	2	50.0%	9	6	66.7%	13	8	61.5%
15 香川県	12	4	33.3%	21	13	61.9%	33	17	51.5%
16 高知県	7	5	71.4%	11	10	90.9%	18	15	83.3%
17 福岡県	40	12	30.0%	79	42	53.2%	119	54	45.4%
18 佐賀県	0	0	---	4	1	25.0%	4	1	25.0%
19 長崎県	2	1	50.0%	8	3	37.5%	10	4	40.0%
20 熊本県	12	6	50.0%	14	9	64.3%	26	15	57.7%
21 大分県	6	1	16.7%	12	4	33.3%	18	5	27.8%
22 宮崎県	9	2	22.2%	15	8	53.3%	24	10	41.7%
23 鹿児島県	2	0	0.0%	18	14	77.8%	20	14	70.0%
24 沖縄県	9	5	55.6%	12	4	33.3%	21	9	42.9%
無記入・複数回答	0	---	---	1	---	---	1	---	---
合計	256	105	41.0%	526	270	51.3%	782	375	48.0%

「1. 合格した場合、入学を検討する」グループでは女子の比率が41%と、相対的に男子の割合が高くなっており、特に回答者の多い上位5府県では、広島県を除き男子の比率が6~7割を占めている。

【質問 A-4】 獣医学科を「受験しない」理由について。

回答	全件(30,712件)のうち		大学進学希望(23,148件)のうち	
	【n=28,895】(※A-2「2. 回答」)		【n=21,862】(※A-2「2. 回答」)	
	回答数	% (※1)	回答数	% (※2)
1 興味・関心のある学問分野ではない	19,283	66.7%	15,023	68.7%
2 国公立大学への進学を希望	4,263	14.8%	4,133	18.9%
3 他の私立大学への進学を希望	1,352	4.7%	1,285	5.9%
4 短期大学への進学を希望	272	0.9%	30	0.1%
5 専門学校への進学を希望	1,329	4.6%	64	0.3%
6 その他	1,366	4.7%	506	2.3%
無記入・複数回答	1,030	3.6%	821	3.8%
合計	28,895	100.0%	21,862	100.0%

本質問は、先の【A-2】で「2. (獣医学科を) 受験しない」を選択した回答者について、その理由を問うものである。

獣医学科を「受験しない」理由については、やはり「1. 興味・関心のある学問分野ではない」が多く、「全件」「大学進学希望者」のいずれにおいても回答の3分の2強を占めている。次いで、「国公立大学への進学を希望」するためという回答が多く、「他の私立大学への進学を希望」する者が約5~6%となっている。

③ B. 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）について

Bの質問群は、獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）に関連した質問である。

【質問 B-1】 獣医保健看護学科の特色の中で、魅力的と思うもの（複数回答）

獣医保健看護学科の特色の中で魅力的と思うもの【複数回答】	全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数	% (*1)	回答数	% (*2)
1 獣医学科に併設、体系的に獣医看護学を学べる	8,899	29.0%	6,833	29.5%
2 実験・実習、キャリア科目等を通じ、実戦力となる獣医保健看護師を養成	8,090	26.3%	6,486	28.0%
3 ペット・伴侶動物など、動物と人の共生社会を推進する獣医療スタッフ	8,617	28.1%	6,432	27.8%
4 公務員や公衆衛生分野担当者として自治体・団体に活躍できる能力を育成	4,410	14.4%	3,459	14.9%
5 ヒト医療にも関わる動物実験等を扱う研究機関・企業のスタッフ	8,459	27.5%	6,590	28.5%
6 充実した施設・設備・機器環境	7,421	24.2%	5,506	23.8%
7 その他	848	2.8%	595	2.6%
合計	46,744	152.2%	35,901	155.1%

(*1) %は 30,712 人に対する比率。 (*2) %は 23,148 人に対する比率。

※回答の選択肢の表現は短縮している。

回答の傾向としては、「全件」でも「大学進学希望者」でも大きく変わらず、選択肢の「1」「2」「3」「5」がいずれも約30%弱、「6」が約24%の割合で選択されていて、想定されている学科の内容について幅広く関心が寄せられていることがうかがえる。最も選択が多かったのは、「1」の獣医学科に併設され、獣医学科と共通の学部共通導入科目や基礎科目から始まり、段階的・体系的に獣医看護学を学べることを挙げた回答が多く、学びのレベルに対する期待が高いことがわかる。全般的に「高度臨床分野」「実験動物分野」に関する評価が高い。

【質問 B-2】 獣医保健看護学科について、受験したいと思いませんか。

回答	全件(30,712件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数	%	回答数	%
1 受験したい	788	2.6%	623	2.7%
2 受験しない	28,785	93.7%	21,826	94.3%
無記入・複数回答	1,139	3.7%	699	3.0%
合計	30,712	100.0%	23,148	100.0%

選択肢「1. 受験したい」を選択した比率は、「全件」母集団で 2.6%、「大学進学希望者」で 2.7%となっている。実数ではそれぞれ 788 件、623 件と、予定されている入学定員 60 名に対し 10~13 倍強に上り、新設の獣医保健看護学科への反応は非常に高いと言える。前項目【A-1】の回答にもうかがえるように、獣医学科との併設を始め、特徴的な内容が関心を集めていることが想定される。

次に「大学進学希望」グループの「1. 受験したい」の 623 名について、居住都道府県の回答内訳を出してみると次表の通りであった。

居住都道府県	【B-2】受験したい(623件)		大学進学希望(23,148件)	
	回答数 (①)	% (*1)	居住地回答 数(②)	% (*2)
17 福岡県	110	17.7%	1,792	6.1%
1 愛媛県	100	16.1%	4,086	2.4%
12 広島県	61	9.8%	2,323	2.6%
5 大阪府	56	9.0%	2,374	2.4%
6 兵庫県	44	7.1%	1,967	2.2%
20 熊本県	25	4.0%	876	2.9%
24 沖縄県	22	3.5%	439	5.0%
15 香川県	19	3.0%	814	2.3%
16 高知県	18	2.9%	543	3.3%
11 岡山県	17	2.7%	704	2.4%
7 奈良県	16	2.6%	867	1.8%
21 大分県	15	2.4%	671	2.2%
3 滋賀県	13	2.1%	902	1.4%
23 鹿児島県	13	2.1%	526	2.5%
13 山口県	12	1.9%	472	2.5%
14 徳島県	12	1.9%	471	2.5%
22 宮崎県	12	1.9%	719	1.7%
4 京都府	11	1.8%	620	1.8%
2 三重県	9	1.4%	429	2.1%
10 島根県	9	1.4%	432	2.1%
8 和歌山県	7	1.1%	338	2.1%
18 佐賀県	7	1.1%	69	10.1%
19 長崎県	7	1.1%	436	1.6%
9 鳥取県	6	1.0%	185	3.2%
無記入・複数回答	2	0.3%	93	2.2%
合計	623	100.0%	23,148	2.7%

(*1) %は 623 件に対する比率。 (*2) %は①/②の比率。

「受験したい」の回答者数が多いのは、獣医学科と同様に、アンケート自体の回答数上位 5 府県であるが、その中でも福岡県が 110 件と最多で、同県の調査回答者数中の 6.1%相当、全体平均 2.7%の 2 倍以上の割合で反応があり、地元の愛媛県、近隣の広島県、さらに大阪府、兵庫県と続いている。

また、この 623 件について、併せて回答者の性別を分類すると以下の通りである。女子の比率が 54.7%と過半数を超えているが、既設の獣医学科併設の獣医保健看護学科(学類)の 2 大学の状況と比較すると、相対的に男子の割合が高いと言える。こうした状況を鑑みると、現在構想中の内容を実現・アピールできれば、既設大学とは異なる層からも志願者を獲得できる可能性が高いとも考えられる。

居住都道府県	【B-2】受験したい(623件)		
	回答数	うち女子数	女子%
1 愛媛県	100	53	53.0%
2 三重県	9	4	44.4%
3 滋賀県	13	4	30.8%
4 京都府	11	9	81.8%
5 大阪府	56	24	42.9%
6 兵庫県	44	28	63.6%
7 奈良県	16	9	56.3%
8 和歌山県	7	4	57.1%
9 鳥取県	6	2	33.3%
10 島根県	9	3	33.3%
11 岡山県	17	8	47.1%
12 広島県	61	33	54.1%
13 山口県	12	9	75.0%
14 徳島県	12	6	50.0%
15 香川県	19	14	73.7%
16 高知県	18	15	83.3%
17 福岡県	110	56	50.9%
18 佐賀県	7	5	71.4%
19 長崎県	7	5	71.4%
20 熊本県	25	14	56.0%
21 大分県	15	7	46.7%
22 宮崎県	12	8	66.7%
23 鹿児島県	13	11	84.6%
24 沖縄県	22	10	45.5%
無記入・複数回答	2	***	***
合計	623	341	54.7%

◆ (参考) 酪農学園大学 獣医保健看護学類 (2016 年度一般入試結果より)

試験区分	志願者数	うち女子	女子%
第1期学力入学試験	152	117	77.0%
第2期学力入学試験	34	27	79.4%
センター試験利用入試(前期)	113	84	74.3%
センター試験利用入試(後期)	8	7	87.5%
合計	307	235	76.5%

※「受験ガイド2017」より作成。

◆ (参考) 日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 (2016 年度入試結果より)

入学者数	男子%	女子%
102	6.9%	93.1%

※「Guide Book2017」(大学案内)より作成。

入学者数なので志願状況ではないが、志願においても女子の比率が相当に高いことが想定される。

【質問 B-3】 獣医保健看護学科に合格した場合について（入学を検討するか）。

回答	全件 (30,712件)のうち		大学進学希望 (23,148件)のうち	
	【n=788】(※B-2「1. 回答」)		【n=623】(※B-2「1. 回答」)	
	回答数	% (※1)	回答数	% (※2)
1 合格した場合、入学を検討する	261	0.8%	186	0.8%
2 併願大学の結果によっては入学を検討する（↓①～⑦は複数回答）	457	1.5%	385	1.7%
①【併願大学】国公立大学の獣医学科	148		121	
②【併願大学】国公立大学の医学・薬学、農学等の学部・他学科	200		186	
③【併願大学】国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科	92		79	
④【併願大学】他の私立大学の獣医学科	48		34	
⑤【併願大学】他の私立大学の獣医保健看護学、医学・薬学、農学等の学部・他学科	83		64	
⑥【併願大学】他の私立大学の④⑤以外の系統の学部・他学科	48		37	
⑦【併願大学】その他	15		10	
無記入・複数回答	70	0.2%	52	0.2%
合計	788	2.6%	623	2.7%

(*1) %は 30,712 人に対する比率。 (*2) %は 23,148 人に対する比率。

入学への志向性が高い「1. 合格した場合、入学を検討する」を回答した者は、「全件」で 261 名、「大学進学希望」で 186 名と、それぞれ予定の定員 60 名を大きく上回っている。

さらに、「2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学を検討する」と回答した併願層の人数（件数）は、「全件」で 457 名、「大学進学希望」では 385 名分あり、それぞれ「1」と「2」を合計すると 718 名（件）・571 名（件）となる。予定入学定員 60 名に対し 10～12 倍弱の人数が存在しており、十分な競争環境の中で入学者の確保が見込まれる。

また併願大学としては獣医学科を含め、国公立大学を検討する「2-①、②、③」の人数が多く、「全件」では①・②・③の延べ件数 440 件＝実数 348 名が、「大学進学希望者」では 386 件＝実数 304 名が該当する。従って、前者では「2」の 76.1% (348/457)、また後者では 79.0% (304/385) を国公立大学の併願者層が占めていることになる。

回答者個々の学力や成績を見るすべはないが、量的にも質的にもこうした回答状況を鑑みると、合格→入学する生徒層について一定以上の学力レベルを想定することができる。

次に本質問で「1. 合格した場合、入学を検討する」を選択した回答者のうち、「大学進学希望者」のグループについて、居住都道府県の回答内訳をまとめると次表の通りである(表は次ページに掲載)。

回答数の多い上位 5 府県は、東から大阪府、兵庫県、広島県、愛媛県、福岡県の 5 府県であることは共通しており、「1. 合格→入学を検討」では地元の愛媛県と福岡県が同数の 1 位であるが、「2」の併願層まで含めると、福岡県が若干愛媛県を上回っている。福岡県は先の「受験したい」の回答と同様に、県内全体に対して 6%弱という、全体平均の倍以上の相対的に高い志向を見せている。上位 5 つの府県の中でも、大阪府と兵庫県は「1」の回答層よりも「2」の併願層のほうがかなり多くなり、大都市圏および近隣で大学の選択肢が増えることを反映した動向になっていると思われる。

居住都道府県	【B-3】「1. 合格→入学 検討」(186件)		【B-3】「2. 併願大の結果 →入学検討」(385件)		【B-3】「1」+「2」		大学進学希望(23,148件)	
	回答数 (①)	% (※1)	回答数 (②)	% (※2)	回答数 (①+②)	% (※2)	居住地回答 数(③)	% (※3)
1 愛媛県	35	18.8%	55	14.3%	90	15.8%	4,086	2.2%
2 三重県	0	0.0%	9	2.3%	9	1.6%	429	2.1%
3 滋賀県	7	3.8%	4	1.0%	11	1.9%	902	1.2%
4 京都府	3	1.6%	7	1.8%	10	1.8%	620	1.6%
5 大阪府	7	3.8%	43	11.2%	50	8.8%	2,374	2.1%
6 兵庫県	10	5.4%	31	8.1%	41	7.2%	1,967	2.1%
7 奈良県	6	3.2%	8	2.1%	14	2.5%	867	1.6%
8 和歌山県	3	1.6%	3	0.8%	6	1.1%	338	1.8%
9 鳥取県	2	1.1%	3	0.8%	5	0.9%	185	2.7%
10 島根県	2	1.1%	7	1.8%	9	1.6%	432	2.1%
11 岡山県	4	2.2%	12	3.1%	16	2.8%	704	2.3%
12 広島県	23	12.4%	32	8.3%	55	9.6%	2,323	2.4%
13 山口県	2	1.1%	9	2.3%	11	1.9%	472	2.3%
14 徳島県	2	1.1%	9	2.3%	11	1.9%	471	2.3%
15 香川県	5	2.7%	13	3.4%	18	3.2%	814	2.2%
16 高知県	9	4.8%	7	1.8%	16	2.8%	543	2.9%
17 福岡県	35	18.8%	69	17.9%	104	18.2%	1,792	5.8%
18 佐賀県	0	0.0%	7	1.8%	7	1.2%	69	10.1%
19 長崎県	2	1.1%	5	1.3%	7	1.2%	436	1.6%
20 熊本県	9	4.8%	16	4.2%	25	4.4%	876	2.9%
21 大分県	6	3.2%	8	2.1%	14	2.5%	671	2.1%
22 宮崎県	3	1.6%	9	2.3%	12	2.1%	719	1.7%
23 鹿児島県	1	0.5%	11	2.9%	12	2.1%	526	2.3%
24 沖縄県	9	4.8%	8	2.1%	17	3.0%	439	3.9%
無記入・複数回答	1	0.5%	---	---	1	0.2%	93	1.1%
合計	186	100.0%	385	100.0%	571	100.0%	23,148	2.5%

(*1) %は186件に対する比率。(*2) %は385件に対する比率。(*3) %は①+②の数の571件に対する比率。

(*4) %は(①+②) / ③の比率。

また、各府県の「1」および「2」の回答者の女子人数をまとめたものが下表である。

居住都道府県	【B-3】「1. 合格→入学 検討」(186件)			【B-3】「2. 併願大の結果 →入学検討」(385件)			【B-3】「1」+「2」		
	回答数 (①)	女子数 (②)	女子% (②/①)	回答数 (③)	女子数 (④)	女子% (④/③)	回答数 (①+③)	女子数 (③+④)	女子% (③+④/ ①+②)
1 愛媛県	35	17	48.6%	55	33	60.0%	90	50	55.6%
2 三重県	0	0	---	9	4	44.4%	9	4	44.4%
3 滋賀県	7	3	42.9%	4	0	0.0%	11	3	27.3%
4 京都府	3	3	100.0%	7	5	71.4%	10	8	80.0%
5 大阪府	7	1	14.3%	43	21	48.8%	50	22	44.0%
6 兵庫県	10	3	30.0%	31	24	77.4%	41	27	65.9%
7 奈良県	6	4	66.7%	8	5	62.5%	14	9	64.3%
8 和歌山県	3	3	100.0%	3	1	33.3%	6	4	66.7%
9 鳥取県	2	0	0.0%	3	1	33.3%	5	1	20.0%
10 島根県	2	1	50.0%	7	2	28.6%	9	3	33.3%
11 岡山県	4	1	25.0%	12	6	50.0%	16	7	43.8%
12 広島県	23	16	69.6%	32	14	43.8%	55	30	54.5%
13 山口県	2	1	50.0%	9	7	77.8%	11	8	72.7%
14 徳島県	2	0	0.0%	9	6	66.7%	11	6	54.5%
15 香川県	5	3	60.0%	13	10	76.9%	18	13	72.2%
16 高知県	9	7	77.8%	7	6	85.7%	16	13	81.3%
17 福岡県	35	12	34.3%	69	43	62.3%	104	55	52.9%
18 佐賀県	0	0	---	7	5	71.4%	7	5	71.4%
19 長崎県	2	1	50.0%	5	4	80.0%	7	5	71.4%
20 熊本県	9	5	55.6%	16	9	56.3%	25	14	56.0%
21 大分県	6	2	33.3%	8	4	50.0%	14	6	42.9%
22 宮崎県	3	1	33.3%	9	7	77.8%	12	8	66.7%
23 鹿児島県	1	0	0.0%	11	10	90.9%	12	10	83.3%
24 沖縄県	9	4	44.4%	8	2	25.0%	17	6	35.3%
無記入・複数回答	1	---	---	---	---	---	1	---	---
合計	186	88	47.3%	385	229	59.5%	571	317	55.5%

「1」「2」を合わせた全体では、【B-2】の受験の意向の場合と同様に女子の比率が過半数を超えているが、入学に対する優先度が相対的に高い「1」の回答層では、若干ではあるが男子の比率が女子を上回っている。上位5府県について見ると、愛媛県・広島県では空間的に距離が近いこともあり女子の比率が「1」全体の平均値を上回っているが、大阪府・兵庫県・福岡県についてはいずれも逆に男子回答者数が大幅に女子人数を上回っている。【B-2】の項でも触れたが、こうした男女を問わずアピールできる内容・立地の特長が今後浸透すれば、既設の大学とは異なる志願→入学者の層を獲得できる可能性が考えられる。

【質問 B-4】 獣医保健看護学科を「受験しない」理由について

回答	全件(30,712件)のうち		大学進学希望(23,148件)のうち	
	【n=28,785】(※B-2「2. 回答」)		【n=21,826】(※B-2「2. 回答」)	
	回答数	%	回答数	%
1 興味・関心のある学問分野ではない	19,315	67.1%	15,083	69.1%
2 国公立大学への進学を希望	4,194	14.6%	4,065	18.6%
3 他の私立大学への進学を希望	1,343	4.7%	1,270	5.8%
4 短期大学への進学を希望	276	1.0%	38	0.2%
5 専門学校への進学を希望	1,325	4.6%	71	0.3%
6 その他	1,213	4.2%	426	2.0%
無記入・複数回答	1,119	3.9%	873	4.0%
合計	28,785	100.0%	21,826	100.0%

本質問は、先の【B-2】で「2. (獣医保健看護学科を) 受験しない」を選択した回答者について、その理由を問うものである。

獣医保健看護学科を「受験しない」理由については、やはり「1. 興味・関心のある学問分野ではない」が多く、「全件」「大学進学希望者」のいずれにおいても回答の3分の2～70%弱を占めている。次いでは、「国公立大学への進学を希望」するためという回答が多く、「他の私立大学への進学を希望」する者が約5～6%となっている。

④ 獣医学部 獣医学科と獣医保健看護学科の併願志望状況について

最後に調査の回答状況から、獣医学科と獣医保健看護学科の 2 つの学科の両方を受験する可能性のある人数を確認しておきたい。

【B-2】の質問において、「大学進学希望」のグループで「1. (獣医保健看護学科を) 受験したい」と回答した人数は 623 件であるが、その中で【A-2】の質問で「1. (獣医学科を) 受験したい」と回答した者は、473 件に上っている。従って、獣医保健看護学科から見た場合の同学部の獣医学科の併願率は 75.9%を占めている。一方、同じ 623 件の中で【A-2】において「2. 受験しない」を選んだ者は 130 件にとどまっている（無記入・複数回答：20 件）。

こうした状況から、現段階では次の 2 つの点がコメントできる。

- 獣医学科の志願者が集まれば、獣医保健看護学科の志願者数も相対的に増え、学力レベルも上がる可能性が高い。また、仮に獣医学科に不合格となった場合でも獣医保健看護学科に合格すれば入学する可能性が高いことがわかる。
 - 獣医学科と獣医保健看護学科の併設設置、基盤教育の共通化、重点教育分野設定など、各種の学びの設計に対する期待度は高いことがわかる。
- 21 世紀の獣医学部としての設計がまだイメージレベルであるにもかかわらず、広く受け入れられていると考えられる。

獣医学科の新設は約 50 年ぶりであり、また入学定員は全国的にも少なく、また東日本エリアに厚くなっている希少性の高い領域でもあるため、今回調査にご協力いただいた西日本エリアの高等学校・高校生の注目度が高い結果となった。岡山理科大学が企画・構想している内容が実現し、また的確な告知・広報を行えば、獣医学科だけでなく、獣医保健看護学科も併せて、学部として充実した学生募集と入学者の確保が十分見込めるものと考えられる。

(参考) 全件集計結果

質問内容		回答	全件	大学進学希望 (※)
■属性	性別	1 男性	15,673	12,465
		2 女性	14,644	10,430
		無記入・複数回答	395	253
		総数	30,712	23,148
	居住都道府県	1 愛媛県	6,487	4,086
		2 三重県	528	429
		3 滋賀県	1,177	902
		4 京都府	753	620
		5 大阪府	2,741	2,374
		6 兵庫県	2,534	1,967
		7 奈良県	977	867
		8 和歌山県	368	338
		9 鳥取県	212	185
		10 島根県	508	432
		11 岡山県	904	704
		12 広島県	3,211	2,323
		13 山口県	645	472
		14 徳島県	496	471
		15 香川県	958	814
		16 高知県	826	543
		17 福岡県	2,389	1,792
		18 佐賀県	85	69
		19 長崎県	462	436
		20 熊本県	1,258	876
21 大分県		771	671	
22 宮崎県		865	719	
23 鹿児島県		804	526	
24 沖縄県		569	439	
	無記入・複数回答	184	93	
	総数	30,712	23,148	
高校での履修系列	1 文系	9,398	7,223	
	2 理系	15,478	14,197	
	3 商業系	1,717	592	
	4 工業系	1,177	247	
	5 その他	2,312	679	
		→ うち、農学・農業系	1,023	298
		→ うち、林学・水産・園芸系	110	22
	無記入・複数回答	630	210	
	総数	30,712	23,148	
高校卒業後の進路	1 4年制大学進学	20,457	20,457	
	2 短期大学進学	762	***	
	3 専門学校進学	2,934	***	
	4 就職	3,030	***	
	5 その他	452	244	
	6 未定	2,447	2,447	
		無記入・複数回答	630	***
	総数	30,712	23,148	
興味のある学問分野【複数回答】	1 獣医学・獣医保健看護学	2,213	1,636	
	2 農学・畜産学・水産学	3,079	2,462	
	3 生命科学・ライフサイエンス	1,687	1,454	
	4 文学・歴史・地理	3,221	2,716	
	5 心理・哲学・宗教	4,056	3,332	
	6 語学関係(外国語・言語学)	2,760	2,277	
	7 国際関係・国際文化	3,186	2,727	
	8 法学・政治学	1,971	1,745	
	9 経済学・経営学・商学	4,452	3,909	
	10 社会学・福祉学	2,080	1,592	
	11 理学・工学	8,183	7,385	
	12 情報・メディア	3,573	2,847	
	13 医学	3,027	2,612	
	14 菌学	965	682	
	15 薬学	2,842	2,573	
	16 看護学	3,562	2,528	
	17 医療技術(理学療法・作業療法など)	3,484	2,750	
	18 食物学・栄養学	3,494	2,356	
	19 家政・生活科学	1,134	765	
	20 体育学・健康科学	2,463	1,749	
	21 美術・デザイン・音楽・芸術学	4,099	2,548	
	22 その他	1,769	934	

(※) 回答者全件から、「高校卒業後の進路」で大学進学とは異なる2、3、4の回答者、および5「その他」の中で、大学校、留学、等、大学進学と異なる進路を明記した回答者を除外した数

質問内容	回答	全件	大学進学希望 (※)
質問A-1 獣医学科の魅力【複数回答】	1 新しい社会ニーズに対応する国のミッションを受けた獣医学部	7,050	5,633
	2 医薬品開発(創薬)等の先端ライフサイエンス分野+医薬連携	8,063	6,417
	3 社会公共性の高い獣医事に従事できる獣医師(公務員、等)	8,671	6,830
	4 グローバル対応の教員を含んだ多数の専任教員による教育体制	7,197	5,704
	5 実習やキャリア科目の充実	6,716	5,081
	6 充実した施設・設備・機器環境	7,451	5,667
	7 50年ぶりの新設獣医学科	4,712	3,576
	8 西日本初の私立大獣医学科(愛媛県今治市)	4,927	3,697
	9 その他	713	496
質問A-2 獣医学科	1 受験したい	1,010	823
	2 受験しない	28,895	21,862
	無記入・複数回答	807	463
	総数	30,712	23,148
質問A-3 獣医学科		[n=1,010] (※A-2「1」回答)	[n=823] (※A-2「1」回答)
	1 合格した場合、入学を検討する	342	256
	2 併願大学の結果によっては入学を検討する (↓①~⑦は複数回答)	612	526
	①【併願大学】国公立大学の獣医学科	224	186
	②【併願大学】国公立大学の医学・薬学・農学等の学部・他学科	287	252
	③【併願大学】国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科	122	107
	④【併願大学】他の私立大学の獣医学科	62	43
	⑤【併願大学】他の私立大学の医学・薬学・農学等の学部・他学科	109	87
	⑥【併願大学】他の私立大学の④⑤以外の系統の学部・他学科	46	37
	⑦【併願大学】その他	15	10
無記入・複数回答	56	41	
総数	1,010	823	
質問A-4 獣医学科を受験しない理由		[n=28,895] (※A-2「2」回答)	[n=21,862] (※A-2「2」回答)
	1 興味・関心のある学問分野ではない	19,283	15,023
	2 国公立大学への進学を希望	4,263	4,133
	3 他の私立大学への進学を希望	1,352	1,285
	4 短期大学への進学を希望	272	30
	5 専門学校への進学を希望	1,329	64
	6 その他	1,366	506
無記入・複数回答	1,030	821	
総数	28,895	21,862	
質問B-1 獣医保健看護学科の魅力【複数回答】	1 獣医学科に併設、体系的に獣医看護学を学べる	8,899	6,833
	2 実験・実習、キャリア科目等を通じ、実戦力となる獣医保健看護師を養成	8,090	6,486
	3 ペット・伴侶動物など、動物と人の共生社会を推進する獣医療スタッフ	8,617	6,432
	4 公務員や公衆衛生分野担当者として自治体・団体に活躍できる能力を育成	4,410	3,459
	5 ヒト医療にも関わる動物実験等を扱う研究機関・企業のスタッフ	8,459	6,590
	6 充実した施設・設備・機器環境	7,421	5,506
	7 その他	848	595
質問B-2 獣医保健看護学科	1 受験したい	788	623
	2 受験しない	28,785	21,826
	無記入・複数回答	1,139	699
	総数	30,712	23,148
質問B-3 獣医保健看護学科		[n=788] (※B-2「1」回答)	[n=623] (※B-2「1」回答)
	1 合格した場合、入学を検討する	261	186
	2 併願大学の結果によっては入学を検討する (↓①~⑦は複数回答)	457	385
	①【併願大学】国公立大学の獣医学科	148	121
	②【併願大学】国公立大学の医学・薬学・農学等の学部・他学科	200	186
	③【併願大学】国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科	92	79
	④【併願大学】他の私立大学の獣医学科	48	34
	⑤【併願大学】他の私立大学の獣医保健看護学、医学・薬学・農学等の学部・他学科	83	64
	⑥【併願大学】他の私立大学の④⑤以外の系統の学部・他学科	48	37
	⑦【併願大学】その他	15	10
無記入・複数回答	70	52	
総数	788	623	
質問B-4 獣医保健看護学科を受験しない理由		[n=28,785] (※B-2「2」回答)	[n=21,826] (※B-2「2」回答)
	1 興味・関心のある学問分野ではない	19,315	15,083
	2 国公立大学への進学を希望	4,194	4,065
	3 他の私立大学への進学を希望	1,343	1,270
	4 短期大学への進学を希望	276	38
	5 専門学校への進学を希望	1,325	71
	6 その他	1,213	426
無記入・複数回答	1,119	873	
総数	28,785	21,826	

(※) 回答者全件から、「高校卒業後の進路」で大学進学とは異なる2、3、4の回答者、および5「その他」の中で、大学校、留学、等、大学進学と異なる進路を明記した回答者を除外した数



アンケート実施にあたって

●国のミッションを受けてつくる新しい獣医学部

平成 28 年 11 月 9 日の国家戦略特別区域諮問 (しもん) 会議 (議長: 内閣総理大臣、事務局: 内閣府) において、「新たなニーズに対応する獣医学部」について、従来獣医師養成機関となる大学 (獣医学科) のなかった四国 (愛媛県今治市) に約 50 年ぶりに新設することが認められ、公募により平成 29 年 1 月 20 日にはこの獣医学部新設を岡山理科大学が担当することが決定されました。

岡山理科大学では、この新しい獣医学部に、国家戦略特区における社会ニーズに対応した国際的に活躍できる獣医師を養成する獣医学科、ならびに獣医看護学を基盤としたベテリナリーパラプロフェSSIONナル (獣医関連専門家) を養成する獣医保健看護学科の 2 つの学科の設置を構想・計画しています。それぞれの学科には次のような特色を持たせる予定です。

【獣医学科 (仮称)】

- ◆「公共獣医事を担う獣医師の育成」国際感染症のコントロール、輸入食品の安全性の確保、感染症の地域封じ込め対策など、社会性・公共性の高い業務を担う獣医師の養成
- ◆「医学や薬学とも連携した研究の推進」獣医の知識と技術を活かし、学問分野を超えて医学、薬学と連携し、医薬品の開発や医療機器の開発を目指し、人の健康を考える研究を推進
- ◆「国際的な獣医学教育の拠点」国際保健機構(WHO)で活躍していた人材等、グローバルな視点を持った教員による、国際的に活躍できる獣医師の養成

【獣医保健看護学科 (仮称)】

- ◇「高度獣医療看護分野」動物愛護センターなど動物管理行政、高度獣医療に対応する動物看護、高齢動物の QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上、安心・安全な高齢者とペットの共生社会の実現などに貢献できる人材の育成
- ◇「公務員・公衆衛生分野」家畜防疫官(国家公務員)、食品衛生監視員・管理者、産業動物獣医看護師として防疫や畜産振興の最前線で即戦力となる獣医関連専門家の育成
- ◇「実験動物最新基盤技術研究支援分野」医薬品や医療機器、医療技術の開発などに向け、先端医科学に関わる実験を支援し、動物に対するケアも含めた獣医学的実験動物管理を担当する、各種研究開発を支える人材

その他の計画概要や内容について、下記および別紙資料 (リーフレット) も併せてご参照いただき、是非高校生のみなさまの本アンケート調査へのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

■【獣医学部 (仮称) 計画概要】

■設置法人・大学名	学校法人 加計学園 岡山理科大学		
■設置予定地	愛媛県今治市いこいの丘 1-3		
■学部・学科名	獣医学部 獣医学科 (仮称) [6年制]	入学定員	160名
	獣医学部 獣医保健看護学科 (仮称) [4年制]	入学定員	60名
■開設予定時期	平成 30 (2018) 年 4 月		
■取得可能な主な資格	獣医師 国家試験受験資格	(獣医学科)	
	動物看護師 統一認定試験受験資格	(獣医保健看護学科)	
	家畜人工授精師 国家試験受験資格	(獣医保健看護学科)	
	実験動物一級技術者 認定試験受験資格	(獣医学科/獣医保健看護学科)	
	食品衛生監視員 任用資格	(獣医保健看護学科)	
	食品衛生管理者 任用資格	(獣医保健看護学科)	
■学生納付金	獣医学科	初年度納付金	250万円 (予定、入学金含む)
	獣医保健看護学科	初年度納付金	153万円 (予定、入学金含む)
■想定される併願先・競合大学			
★獣医学科	国立大学：帯広畜産大学、北海道大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、大阪府立大学、鳥取大学、山口大学、富崎大学、鹿児島大学 私立大学：酪農学園大学、北里大学、日本大学、日本獣医生命科学大学、麻布大学		
★獣医保健看護学科	酪農学園大学、日本獣医生命科学大学 (獣医学科併設の獣医保健看護学科；いずれも私立大学) その他の動物看護等に関する大学・学部・学科		

※学部・学科の名称、入学定員、取得可能な資格、ほか、上記の内容は構想・計画中のものであり、今後変更される場合があります。

お手数をお掛けしますが、順次、以下の質問にご回答をお願いしたく存じます。
 なお、ご回答いただいた皆さんから得られた情報は、この学部新設に係る統計資料としてのみ用い、他の目的には使用いたしません。

■あなたのことについて、お答えください。

★それぞれあてはまるものいずれかに○をつけてください。

- 【性別】 1. 男性 2. 女性
- 【居住都道府県】 1. 愛媛県 2. 三重県 3. 滋賀県 4. 京都府 5. 大阪府 6. 兵庫県
 7. 奈良県 8. 和歌山県 9. 鳥取県 10. 島根県 11. 岡山県 12. 広島県
 13. 山口県 14. 徳島県 15. 香川県 16. 高知県 17. 福岡県 18. 佐賀県
 19. 長崎県 20. 熊本県 21. 大分県 22. 宮崎県 23. 鹿児島県 24. 沖縄県
- 【高校での履修系列】 1. 文系 2. 理系 3. 商業系 4. 工業系
 5. その他 ()
- 【高校卒業後の進路】 1. 4年制大学進学 2. 短期大学進学 3. 専門学校進学 4. 就職
 5. その他 () 6. 未定

★あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 【興味のある学問分野】
1. 獣医学・獣医保健看護学 2. 農学・畜産学・水産学 3. 生命科学・ライフサイエンス
 4. 文学・歴史・地理 5. 心理・哲学・宗教 6. 語学関係（外国語・言語学）
 7. 国際関係・国際文化 8. 法学・政治学 9. 経済学・経営学・商学
 10. 社会学・福祉学 11. 理学・工学 12. 情報・メディア
 13. 医学 14. 歯学 15. 薬学
 16. 看護学 17. 医療技術（理学療法・作業療法など）
 18. 食物学・栄養学 19. 家政・生活科学 20. 体育学・健康科学
 21. 美術・デザイン・音楽・芸術学 22. その他 ()

次の質問からは、岡山理科大学が平成30（2018）年4月に開設を構想・計画している獣医学部 獣医学科（仮称）、ならびに獣医保健看護学科（仮称）について、おたずねします。
 表紙記載の特色や概要、別紙資料（リーフレット）をご覧の上、お答えください。

A. 獣医学部 獣医学科（※以下では、「獣医学科」と略記）についての質問

【質問A-1】新設される「獣医学科」の特色の中で、あなたが魅力的と思うものをお答えください。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 新しい社会ニーズに対応するために国のミッションを受けてできる獣医学部であること。
2. ヒトおよび動物の医薬品開発（創薬）等の先端ライフサイエンス分野に、多様な実験動物などを用いて関わるなど、医学や薬学とも連携した研究を目指せること。
3. グローバル化が進む現在、国際感染症のコントロール、輸入食材・食品など食の安全性の確保、感染症の拡大を抑える地域での危機管理対応など、社会性公共性の高い獣医事に従事できる獣医師（国家公務員、地方公務員、地方公共団体、各種センターなど）を目指せること。
4. 国の内外で活躍できる獣医師の育成を目指し、国際保健機構（WHO）出身のグローバルな視点を備えた教員をはじめ、80名を超える学部専任教員による充実した教育体制。
5. 獣医師としての専門性に加え、チーム獣医療の中心メンバーとして活躍できるように、協働する力、コミュニケーション力、実践力などを高めるため、各分野での実習やキャリア科目が充実していること
6. 獣医学教育病院、大動物実習室、小動物から大動物や水産系生物まで様々な教育研究や実験の対象となる動物飼育施設をはじめとする、充実した施設・設備・機器環境。
7. 約50年ぶりに新設される獣医学科であること。
8. 私立大学として、西日本地区（愛媛県今治市）に初めてできる獣医学科であること。
9. その他 ()

【質問A-2】「獣医学科」について、受験したいと思いませんか。（どちらかひとつに○をつけてください。）

1. 受験したい ⇒ 1の方は【質問A-3】にお答えください。
2. 受験しない ⇒ 2の方は【質問A-4】にお答えください。

【質問A-3】(質問A-2で「1. 受験したい」を選んだ人がお答えください。)

「獣医学科」に合格した場合について(どちらかひとつに○をつけてください。)

1. 合格した場合、入学を検討する。
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学を検討する。
⇒ 2の方は、併願先として検討中の対象をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- ① 国公立大学の獣医学科
- ② 国公立大学の医学・薬学・生命科学・医療系や農学・畜産学・水産学系の学部・学科
- ③ 国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科
- ④ 他の私立大学の獣医学科
- ⑤ 他の私立大学の医学・薬学・生命科学・医療系や農学・畜産学・水産学系の学部・学科
- ⑥ 他の私立大学の④⑤以外の学部・学科
- ⑦ その他 ()

【質問A-4】(質問A-2で「2. 受験しない」を選んだ人がお答えください。)

「獣医学科」を「受験しない」とされた理由をお答えください。

(あてはまるものどれかひとつに○をつけてください。)

1. 興味・関心のある学問分野ではないから
2. 国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 短期大学への進学を強く希望しているから
5. 専門学校への進学を強く希望しているから
6. その他、理由があればお書きください

()

B. 獣医学部 獣医保健看護学科 (※以下では、「獣医保健看護学科」と略記) についての質問

【質問B-1】新設される「獣医保健看護学科」の特色の中で、あなたが魅力的と思うものをお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 獣医学部の中の「獣医保健看護学科」として、獣医学科と共通の学部共通導入科目や基礎科目から始まり、専門基礎科目・専門科目・発展科目と、体系的に獣医看護学を学べること。
2. 講義だけでなく、実験・実習などの各種科目やキャリア科目を通じて、チーム獣医療や高度獣医療の場面で即戦力として活躍できる獣医保健看護師(動物看護師)等の臨床系獣医療スタッフを育成すること。
3. 人の生活と深く関わり家族化するようになったペット・伴侶動物に対し、動物と人が共に幸せに暮らせる社会を推進できる環境を整える獣医療・動物福祉のスタッフを育成すること。
4. 家畜防疫官、食品衛生監視員・管理者、産業動物獣医看護師など、公務員や公衆衛生分野担当者として自治体・団体などで活躍できる能力を育成すること。
5. 動物の医療だけでなく、人(ヒト)医療にも関わる各種医薬品や医療機器の開発、また再生医療などの先端医療研究に欠かせない動物実験の運営や実験動物の作製、管理などを担う研究機関や企業のスタッフを目指せること。
6. 獣医学教育病院、大動物実習室、小動物から大動物や水産系生物まで様々な教育研究や実験の対象となる動物飼育施設をはじめとする充実した施設・設備・機器環境。
7. その他 ()

【質問B-2】「獣医保健看護学科」について、受験したいと思いますか。(どちらかひとつに○をつけてください。)

1. 受験したい ⇒ 1の方は【質問B-3】にお答えください。
2. 受験しない ⇒ 2の方は【質問B-4】にお答えください。

★質問は裏面に続きます。

【質問B-3】(質問B-2で「1. 受験したい」を選んだ人がお答えください。)

「獣医保健看護学科」に合格した場合について (どちらかひとつに○をつけてください。)

1. 合格した場合、入学を検討する。
 2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学を検討する。
- ⇒ 2の方は、併願先として検討中の対象をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- ① 国公立大学の獣医学科
- ② 国公立大学の医学・薬学・生命科学・医療系や農学・畜産学・水産学系の学部・学科
- ③ 国公立大学の上記①②以外の系統の学部・学科
- ④ 他の私立大学の獣医学科
- ⑤ 他の私立大学の獣医保健看護学・医学・薬学・生命科学・医療系や農学・畜産学・水産学系の学部・学科
- ⑥ 他の私立大学の④⑤以外の系統の学部・学科
- ⑦ その他 ()

【質問B-4】(質問B-2で「2. 受験しない」を選んだ人がお答えください。)

「獣医保健看護学科」を「受験しない」とされた理由をお答えください。

(あてはまるものどれかひとつに○をつけてください。)

1. 興味・関心のある学問分野ではないから
2. 国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 短期大学への進学を強く希望しているから
5. 専門学校への進学を強く希望しているから
6. その他、理由があればお書きください

()

●新設構想中の「獣医学科」または「獣医保健看護学科」に対するご意見・ご要望があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

●岡山理科大学 獣医学部(仮称) 設置の概要

■設置法人・大学名 学校法人 加計学園 岡山理科大学
 ■設置予定地 今治キャンパス(仮称) 愛媛県今治市いこいの丘1-3
 ■学部・学科名(仮称) 獣医学部 獣医学科(6年制) 入学定員160名
 獣医学部 獣医保健看護学科(4年制) 入学定員60名
 ■開設予定時期 平成30(2018)年4月

■取得可能な主な資格 獣医師 国家試験受験資格(獣医学科)
 動物看護師 統一認定試験受験資格(獣医保健看護学科)
 家畜人工授精師 国家試験受験資格(獣医保健看護学科)
 実験動物一級技術者 認定試験受験資格(獣医学科/獣医保健看護学科)
 食品衛生監視員 任用資格(獣医保健看護学科)
 食品衛生管理者 任用資格(獣医保健看護学科)
 ■学生納付金 獣医学科 初年度納付金 250万円(予定、入学金含む)
 獣医保健看護学科 初年度納付金 153万円(予定、入学金含む)



<キャンパス完成予想図>

●岡山理科大学 獣医学部(仮称) アクセスマップ



アクセス所要時間



●岡山理科大学 既設学部・学科概要

岡山理科大学 岡山キャンパス 岡山県岡山市北区理大町1-1

建学の理念

岡山理科大学は、1964年 創立者、加計勉の、「ひとりひとりの若人が持つ能力を 最大限に引き出し 技術者として 社会人として 社会に貢献できる 人材を養成する」との理念の下に設立されました。そして開学から50余年、人間性と創造性に富む人材を輩出してきました。

6学部19学科1コースの学び

理学部	応用数学科/化学科/応用物理学科/基礎理学科 生物化学科/臨床生命科学科/動物学科
工学部	バイオ応用化学科/機械システム工学科 電気電子システム学科/情報工学科/知能機械工学科 生命医療工学科/建築学科/工学プロジェクトコース
総合情報学部	情報科学科
生物地球学部	生物地球学科
教育学部	初等教育学科 中等教育学科(国語教育コース・英語教育コース)

平成29(2017)年4月開設

経営学部 経営学科

●加計グループ

学校法人 加計学園

岡山理科大学(岡山県岡山市) / 倉敷芸術科学大学(岡山県倉敷市)
 千葉科学大学(千葉県鎌倉市) / 岡山理科大学専門学校(岡山県岡山市)
 玉野総合医療専門学校(岡山県玉野市) / 岡山理科大学附属高等学校(岡山県岡山市)
 岡山理科大学附属中学校(岡山県岡山市) / 御影インターナショナルこども園(兵庫県神戸市)

学校法人 順正学園

学校法人 広島加計学園

学校法人 英数学園

社会福祉法人 順正福祉会

学校法人 ゆうき学園

学校法人 吉備高原学園

国のミッションを受けてつくる新しい獣医学部

岡山理科大学 今治キャンパス

獣医学部 (仮称)

獣医学科・獣医保健看護学科

平成30(2018)年4月開設予定(構想・計画中★)

動物とヒトの健康を科学する

獣医学科(※)

グローバルに活躍する獣医師になる

獣医保健看護学科

ベテリナリーパラプロフェッショナル(獣医関連専門家)になる



★学部・学科の名称、入学定員、ほか本紙の掲載内容は構想・計画中のものであり、今後変更される場合があります。

(※)岡山理科大学 獣医学部設置の背景

【参考】国家戦略特区における追加の規制改革事項について

(平成28年11月9日国家戦略特別区域諮問会議において次の事項が決定されました)

先端ライフサイエンス研究や地域における感染症対策など、**新たなニーズに対応する獣医学部の設置**

人獣共通感染症を始め、家畜・食料等を通じた感染症の発生が国際的に拡大する中、創薬プロセスにおける多様な実験動物を用いた先端ライフサイエンス研究の推進や、地域での感染症にかかる水際(みずぎわ)対策など、獣医師が新たに取り組むべき分野における具体的な需要に対応するため、現在、広域的に獣医師養成大学等の存在しない地域に限り獣医学部の新設を可能とするための関係制度の改正を、直ちに行う。

